

【目次】 国際人権法の考え方

はしがき

凡例（略語）

プロローグ	1
1 国際人権法とは何か？ 1	
2 国際人権法の意義 2	
3 条約とは？ 3	
4 本書の構成 4	

1部 国際人権法の基礎

1章 権利と義務は誰のもの？	8
1 はじめに考えてみよう 8	
2 権利の主体 10	
3 義務の主体 12	
2章 なぜ自由権と社会権は分けられないの？	19
1 はじめに考えてみよう 19	
2 人権二分論 20	
3 人権不可分論 23	
3章 まったく同じように扱っても差別？	30
1 はじめに考えてみよう 30	
2 2つのタイプの差別 31	

- 3 スリメノス事件 34
- 4 直接差別と間接差別 38
- 5 間接差別と合理的配慮 39
- 6 根深い差別構造の解消 41

2部 国際人権法の個別分野

4章 ジェンダーは女性のことではありません！

——女性差別撤廃条約 44

- 1 はじめに考えてみよう 44
- 2 条約上の「女性に対する差別」とジェンダー 46
- 3 教育に対する権利と国家の義務 49
- 4 事例について考えてみよう 52
- 5 東京医科大学受験料等返還請求訴訟 53

5章 国籍と人種、その違いが分かりますか？

——人種差別撤廃条約 55

- 1 はじめに考えてみよう 55
- 2 人種差別撤廃条約とは？ 58
- 3 条約違反の「人種差別」とそうでない「国籍の有無による区別」 59
- 4 事例について考えてみよう 62
- 5 ヘイトスピーチ規制に対する日本の課題 65

6章 不登校は何が問題？——子どもの権利条約 67

- 1 はじめに考えてみよう 67
- 2 普通教育と義務教育 68
- 3 不登校の問題と子どもの権利委員会の総括所見 69
- 4 不登校に関する日本政府の政策転換 72
- 5 子どもの権利委員会が示す世界知 74

7章	障害って何だろう？——障害者権利条約	77
1	はじめに考えてみよう	77
2	障害(者)の概念	78
3	権利条約の批准	82
4	人権の主体としての障害者	84
5	個人通報事例	85
8章	仕事の内容が同じなのに賃金が違う？ ——国際労働機関（ILO）条約	88
1	はじめに考えてみよう	88
2	国際労働機関（ILO）、そして国際労働基準とは？	90
3	ILO100号条約とは？	93
4	事例について考えてみよう	96
5	非正規労働と同一労働同一賃金	98
9章	帰るに帰れない！ ——難民条約と拷問等禁止条約	100
1	はじめに考えてみよう	100
2	難民不認定、長期間収容、送還忌避	100
3	難民条約	102
4	拷問等禁止条約	106
5	難民条約と拷問等禁止条約の異同	107
6	ノン・ルフールマン原則と日本	108
10章	国境を越えた者同士なのに何が違う？ ——難民条約と移住労働者権利条約	111
1	はじめに考えてみよう	111
2	難民条約とは？	113
3	事例について考えてみよう	116
4	移住労働者権利条約とは？	117
5	事例について考えてみよう	119

3部 国際人権法の実現方法

11章 条約は国内の裁判でも使えるの？ 124

- 1 はじめに考えてみよう 124
- 2 条約の国内的効力 125
- 3 立法措置と司法措置 126
- 4 裁判規範としての条約 127
- 5 私人間の紛争と条約 128

12章 国家報告に効き目はあるの？ 133

- 1 はじめに考えてみよう 133
- 2 締約国に人権条約を守らせるしくみ 134
- 3 アイヌ民族と世界の先住民族 136
- 4 日本政府の取組み 139
- 5 日本政府と人種差別撤廃委員会との建設的対話 141
- 6 国家報告制度の意義 143

13章 日本人も個人通報できるの？ 145

- 1 はじめに考えてみよう 145
- 2 個人通報制度とは？ 146
- 3 メルボルン事件 150
- 4 ゲイエ対フランス事件 152
- 5 個人通報制度の意義 154

エピローグ 157

- 1 国際人権法の考え方から日常を考えてみると？ 157
- 2 国際人権法の考え方とは何か？ 158
- 3 なぜ国際人権法か 160
- 4 さらに国際人権法を活かすために 162
- 5 新型コロナウイルス感染症対策の課題を考える 165

事項索引

判例等索引

一般的意見・総括所見索引

凡例（略語）

ILO100号条約：同一価値の労働についての男女労働者に対する同一報酬に関する条約

移住労働者権利条約：全ての移住労働者及びその家族の権利保護に関する条約

欧州人権条約：人権及び基本的自由の保護のための欧州条約

強制失踪条約：強制失踪からのすべての者の保護に関する国際条約

拷問等禁止条約：拷問及びその他の残虐な、非人道的な又は品位を傷つける取扱い又は刑罰に関する条約

子どもの権利条約：児童の権利に関する条約

子どもの権利条約選択議定書：児童の権利に関する条約の選択議定書

社会権規約（国際人権 A 規約）：経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約

社会権規約選択議定書：経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約の選択議定書

自由権規約（国際人権 B 規約）：市民的及び政治的権利に関する国際規約

自由権規約第 1 選択議定書：市民的及び政治的権利に関する国際規約の第 1 選択議定書

障害者権利条約：障害者の権利に関する条約

障害者権利条約選択議定書：障害者の権利に関する条約の選択議定書

女性差別撤廃条約：女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約

人種差別撤廃条約：あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約

難民条約：難民の地位に関する条約

難民議定書：難民の地位に関する議定書

* 公定訳文などを引用する際には、特に逐一断らずに、「女子」を「女性」に変更するなど一部訳語を改めたほか、上記の凡例にある略語を用いるとともに、引用者の強調したい部分を太字ゴチックにした。